

平成30年11月29日

船工30第497号

報道各位

台湾船用工業セミナーの開催結果について

(一社) 日本船用工業会

当工業会は、日本財団助成事業として、11月27日(火)に台湾の台北市にて船用工業セミナーを開催した。今回のセミナーは、二年ぶりの同地での開催であったが、船主、造船所をはじめ前回は上回る150名余りの来場者があった。

当工業会からは、山田信三会長、藤原克彦副会長(当会海外市場開拓委員長)、脇憲一副会長、木下和彦副会長及びト部礼二郎海外市場開拓検討WG座長をはじめ、28社の会員企業から約90名が参加した。

セミナー冒頭、山田会長より、「前回のセミナー開催を通じて、日本の船用業界にとって極めて重要な顧客である台湾船主や造船所と多数の当会会員企業が一堂に会し、最新の情報提供や意見交換を行う機会は有意義であることを改めて認識し、今回再び当地にてセミナーを実施することとした」旨の挨拶を行った。続いて、台湾政府の交通部航港局の劉主任秘書より、「台湾海事関係者が強化される国際規制に対応するためには、日本の最新技術動向に関する情報収集が非常に重要であることから、今回のセミナーは有意義である」との来賓挨拶があった。さらには今回のセミナー開催に多大な協力を得た台湾船主団体である「航運界工務聯誼会」(The Committee of Taiwan Maritime Technician)の林会長より、「前回と同様、今回のセミナーでも台湾と日本との交流発展の良い機会となることを期待する。今後も定期的に当地でのセミナーを開催してほしい」との挨拶があった。

挨拶につづき、参加会員企業25社が2つの会場に分かれて、自社製品・技術の最新情報等に関するプレゼンテーションを行った。両会場とも終始ほぼ満席状態であり、台湾側の我が国船用工業に対する関心の高さが窺えた。また、講演と並行し、隣接する会場で参加企業28社が商談テーブルを設置し、来場者との活発な意見交換を行った。

セミナー終了後には、現地顧客を招いたレセプションを開催し、会員企業との間の歓談で閉会間際まで賑わっていた。

なお、本セミナーについては、台湾現地業界紙でも開催前から報道され、開催翌日も開催概要が報道された。

<セミナー開催概要>

日時：2018年11月27日(火) (セミナー：14:00-18:00、懇親会：18:30-20:30)

会場：リージェント台北ホテル(台北晶華酒店) 4階 Function rooms 及び 3階 Ball room
(住所：No. 3, Ln. 39, Sec. 2 Zhongshan N. Rd., Taipei 104, Taiwan)

実施内容 : 別紙プログラム参照

参加企業 : 計 28 社

プレゼンテーション実施及び商談テーブル設置企業 : 25 社

(株)赤阪鐵工所、イーグル工業(株)、ウインターツールガスアンドディーゼルジャパン(株)、
神奈川機器工業(株)、川崎重工業(株)、(株)ササクラ、商船三井テクノトレード(株)、
(株)ジャパンエンジンコーポレーション、大晃機械工業(株)、大洋電機(株)、ダイハツディーゼル(株)、
高階救命器具(株)、ターボシステムズユナイテッド(株)、中国塗料(株)、東京計器(株)、ナカシマプロペラ(株)、
ナブテスコ(株)、新潟原動機(株)、阪神内燃機工業(株)、日立造船(株)、藤倉ゴム工業(株)、ボルカノ(株)、
眞鍋造機(株)、三菱化工機(株)、ヤンマー(株)

商談テーブルのみ参加企業 : 3 社

(株)イソダメタル、島田燈器工業(株)、(株)マキタ

問い合わせ先

一般社団法人 日本船用工業会 業務部 友松・丸山

TEL : 03-3502-2041 FAX : 03-3591-2206 Email : tomomatu@jsmea.or.jp、maruyama@jsmea.or.jp

<参考写真>



開会挨拶を実施する山田会長



交通部航港局 劉主任秘書による来賓挨拶



航運界工務聯誼會 林会長による来賓挨拶



左より交通部航港局 劉主任秘書、山田会長、航運界工務聯誼会 林会長



会員企業による講演の様子



商談テーブルの様子



レセプションでの木下副会長の挨拶



レセプションでの協副会長の乾杯挨拶



レセプションでのト部座長 閉会の挨拶



レセプションの様子

以上